

# 資源の消費抑制、 廃棄物の発生抑制、 処分量の最小化を 目指す。

大量生産・大量消費・大量廃棄が主流の経済社会活動は、ゴミ処理、海洋のマイクロプラスチック、天然資源の枯渇、生物多様性の損失、気候変動など、いろいろな環境問題と関係しています。経済社会活動の新しい様式として、天然資源の消費抑制、廃棄物の発生の最小化を目指す「循環経済(サーキュラーエコノミー)」の取り組みが、国際的な共通課題となっています。

中部電力グループは、資源の消費抑制を図るとともに、廃棄物の発生抑制や資源の再利用・リサイクルにより、「循環型社会」の実現に努めます。



## 循環型社会の実現

### 資源循環の取り組み

産業廃棄物等の  
リサイクル率

98.3%

産業廃棄物等の発生量は4.5万tでした。リサイクルすることによって、限りある資源の消費抑制に努めています。

PCB廃棄物  
(有害廃棄物)処理量

1,701t

PCB廃棄物処理においては変圧器、バラサ、電源変圧器等の処理を、法律で定められた期限(2027年3月31日)に向け、計画的に進めています。

グリーン調達率

98.9%

事務用消耗品について環境配慮製品の調達を積極的に推進し、環境負荷の軽減への取り組みを進めています。

(上記いずれも2023年度実績)

## 原子燃料のリサイクル

原子力発電で一度使ったウラン燃料(使用済燃料)は、再処理することで、もう一度原子力発電の燃料としてリサイクルできます。ウラン資源を再利用すれば、エネルギーを長期にわたり安定的に供給することができます。また、使用済燃料を再処理することで、高レベル放射性廃棄物の減容化および有害度の低減につながります。

## クリアランス金属の再利用

浜岡原子力発電所1,2号機の廃止措置に伴い発生したクリアランス金属の再利用を2022年度より進め、2023年度末までに累計で約115トン分(2023年度単年度では約21トン分)のクリアランス金属を側溝用の蓋に再利用して設置しました。

### クリアランス金属

原子力発電所の運転・保守や解体にともなって発生するもののうち、放射能濃度が極めて低いことを国が確認したもの。人の健康に対する影響が無視できる程度であるため、一般の廃材と同様に再利用が可能。



浜岡原子力発電所敷地内の側溝用蓋として再利用

## プラスチック 資源循環法への対応

### ～使用済み制服の再利用～

化学繊維で作られた制服は廃プラスチック類に該当します。使用後の制服はRPF(Refuse derived paper and plastics densified Fuel: 古紙と廃プラスチック類を主原料とした高品位の固形燃料)に生まれ変わり、石炭の代替燃料として、バイオマス発電所などで利用されています。2023年度の廃プラスチック類の発生量は1,953tでした。

プラスチック資源循環法って  
どんな法律?



プラスチックの資源循環の取り組みを求める法律で、プラスチック製品の【設計・製造、販売・提供、排出・回収・リサイクル】の全ての工程でプラスチック資源循環の取り組み(3R+Renewable)を促進する目的で制定されました。



3R+Renewable

## 循環型社会の実現

### 「資源」として循環させる仕組みづくり ～「捨てない」選択肢を提供し持続可能な社会の実現に貢献～

資源循環によるごみの減量化に向け、株式会社ECOMMITと業務連携し、不用品を「資源として再流通させる」ための仕組みを広げ、地域におけるリユース・リサイクルを推進していきます。

当社との取り組みで設置している衣類・雑貨の資源循環サービス「PASSTO」の不要品回収ボックス拠点は、以下のとおりです。

○でんきの科学館 ○トナリエ四日市 ○ユニー株式会社のアピタ・ピアゴ18店舗  
その他当社グループ会社従業員向けに当社本店ビルおよびグループ会社複数箇所



PASSTOボックス

2024年10月時点

### 廃棄物処理施設における自治体との連携

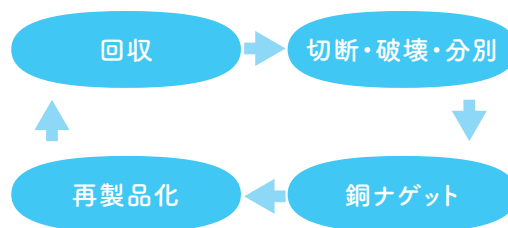
碧南市とごみ処理施設建て替えに関して、資源循環事業などの検討に関する連携協定を締結しました。この協定は資源およびエネルギーの合理的かつ循環的な利用に関する取り組みを官民で推進することを目的としており、現在、地域で発生するバイオマスを最大限活用したごみ焼却施設の建設および運営の検討をしています。また、市内公共施設におけるバイオマス発電による再生可能エネルギーの活用など、エネルギーの地産地消に向けた取り組みを推進していきます。

### 使用済み電線の クローズドリサイクル

中部電力パワーグリッドでは、工事会社および電線メーカーとの協働により、使用済みの絶縁電線を回収して、新しい絶縁電線を作るクローズドリサイクルを推進しています。

電線は、抵抗率が小さくリサイクル性に富んだ銅を使っています。回収した電線は絶縁被膜が劣化したリ工事において接続や切断の加工がされているためそのままでは使用できません。

このため、切断、破碎、分別、銅ナゲットへの加工などのサイクルにより再製品化しています。



再製品化した銅電線



加工した銅ナゲット

### ゴミの陸域から海域への 流出抑制

中部電力グループ従業員とその家族がボランティアで参加する河川や海岸などの清掃活動を通じて、陸域での廃棄物の適正処理、プラスチックの海域への流失抑制に取り組んでいます。

河川や海岸の清掃活動に  
ボランティア参加した数

活動箇所 参加人数

19カ所 413名

(2023年度実績)



海岸清掃活動(篠島サンサンビーチ)

### 使用済みリチウムイオン電池の リサイクル技術に関する研究

弘前大学考案の電気透析法によるリチウム回収技術にて、基本原理の解明・リチウム回収速度の向上・高度化・高性能化を目的とした研究を推進しています。

## 循環型社会の実現

### バイオマスのカスケード利用

ソルガムという作物から有価物を得て最終段階でバイオマス燃料に利用（カスケード利用※）する技術を、複数の大学・企業と共同研究しています。ソルガムからは家畜飼料のほか、セルロースナノファイバーや高機能プラスチックなどの高付加価値製品が生産され、残った未利用分もバイオマス燃料として利用可能です。また、痩せた土地でも育成可能、かつ短期間で成長するため年に2回収穫でき高収量も期待できます。本研究では、国内バイオマス燃料の安価かつ安定的な調達に加え、農業や地域産業を含めた持続可能な地域循環社会の構築を目指しています。

※カスケード利用の意味はP16を参照



ソルガム栽培実証 三重大学附帯施設農場



ソルガム栽培 名古屋大学東郷フィールド圃場

### グループ会社の取り組み

#### フードロスの削減「TSUNAGU table」

中部電力グループの中部電力ミライズコネクト株式会社では、品質に問題なくとも廃棄せざるを得ない食品を、お得に楽しくお客さまへお届けすることでフードロスの削減に貢献できるサービスを実施しています。この取り組みにより、食品メーカーや卸売業者さまと社会貢献を目指すお客さまをつないでいます。



商品一例

#### ダムに集まる流木、ごみ焼却灰、石炭灰の再利用



環境に配慮した鉢「木玉」

中部電力グループの中電ウイング株式会社では、ダムに流れ着いた流木を細かく砕いたチップ、ごみ焼却灰から作るエコセメント、火力発電所から出る石炭灰を利用し、これらに雨水を混ぜて球状に成型して、環境に配慮した鉢「木玉」を制作しています。



使用済み電柱の循環利用

#### 使用済み電柱の循環利用

中部電力グループの中電輸送サービス株式会社では、限りある資源を活かし、持続可能な社会を形成するため、電柱をはじめ使用済みコンクリートを回収、破砕して再生砕石を製造しています。愛知県の「あいくる材」認定品です。



「あいくる材」って  
どんなものなの？

「あいくる材」は、不要物として廃棄されていたものを再生資源（原材料）として使用したリサイクル資材です。愛知県が公共工事で使用可能な品質・性能・環境に対する安全性などを評価し、認定しています。

